

小須戸 ART プロジェクト

2017

参加作家募集要項



小須戸コミュニティ協議会が主催するアートプロジェクト「小須戸 ART プロジェクト 2017」の参加作家の公募を行います。多くの皆さまからのご応募、お待ちしております。

■小須戸 ART プロジェクト 2017

信濃川舟運で栄えた蒲原平野の在郷町としての歴史を持つ小須戸の町。舟運の衰退により時代に取り残された一方で、近年は開発を免れた新潟県下有数の町屋の町並みが注目され、町屋を改装した店舗の出店が相次ぐなど、注目を集めつつあります。

プロジェクトでは、こうした動きの一層の進展を目指し、当団体が管理・運営する「町屋ギャラリー薩摩屋」を中心に、地域に点在する町屋や店舗をつなぐ媒介として現代アートを活用しています。プロジェクトを通して、作家、住民、来訪者間での新たなネットワークの構築、アートによる地域の価値を再発見・再認識・情報発信の機会を設けます。また、来年開催される“水と土の芸術祭 2018”を一つの目標に、住民と作家との交流や出会いの機会を継続していきます。

■実施期間 2017年8月21日～11月5日

○滞在制作期間 8月21日～9月22日

公募で決定した参加作家が（滞在）制作・展示を行います。
※8月24日～26日に開催される小須戸祭の影響で、前後数日間は人の出入りが多くなります。制作に集中することが難しい場合がありますので、予めご了承ください。

○展示公開期間 9月23日～11月5日

制作した作品の展示公開を行います。なお、公開日時は、展示会場毎に事前に調整します。

※9月23日（土）はオープニング（参加作家による作品解説ツアーや、アーツカウンシル新潟関係者、アートプロジェクトに関わる研究者、過去参加作家などのゲストを招いて行うトークイベント）を予定していますので、必ず参加をお願いします。

※原則として11月5日の展示公開終了後に撤出・撤収作業を行い、なるべく6日中に撤収を完了してください。

※この他に過去参加作家によるワークショップ等を予定しています。

※野原万里絵さんの個展との連携について

8月15日～27日にかけて、新潟市新津美術館市民ギャラリーを会場に、プロジェクトの過去参加作家野原万里絵さんの個展を開催する予定です。個展開催と合わせて小須戸エリアでも野原万里絵さんの作品展示等を予定しており、一部作品はプロジェクト終了まで展示を継続予定です。

■実施体制

主催：小須戸コミュニティ協議会

協力：各展示会場

※当プロジェクトは新潟市“水と土の文化創造都市 市民プロジェクト 2017”への応募予定事業です。

■募集組数と募集条件

募集組数：2組程度（助成金決定額により変動有）

※応募にあたっては、以下の条件を満たす事をご確認ください。

- 1) 地域住民と良好な関係をもって交流ができること（★特に重要!!）。
- 2) 2018年に開催が想定される“水と土の芸術祭 2018”や、その後の小須戸地域でのプロジェクトの発展に向けて、今後も継続してプロジェクトに関わる意思があること。
- 3) 健康状態が良好であること。
- 4) 現代美術やそれに類する分野で活動していること（プロアマ問わず）。
- 5) 日本語での日常会話が、日常生活を行う上で支障なく可能であること（外国人の場合）。

■制作する作品について

以下のいずれかに該当するものであれば、制作・展示する作品のジャンルは問いません。なお、プロジェクトの主旨に反する判断されるものは、制作・展示をお断りする場合があります。

a) 地域の歴史や伝統産業等に関連したものや、そこからアイデアを展開させたもの

例：木瓜などの花卉栽培、小須戸織、舟運や機業の歴史、信濃川、里山の自然環境等、地域の歴史や特性を読み取り、それを反映させた作品等

b) 町屋・空き家の再生や新たな魅力の発見につながるもの

例：展示会場となる町屋や店舗の空間を活用したインスタレーション作品等

c) 町屋・町並みの風情の演出につながるもの

例：町並みへ設置するのれんやオブジェ

※10月7日（土）に地域で予定している演奏会イベントと制作との連携も、ぜひご検討ください。

d) 地域住民とのコミュニケーションや体験から生まれる物事を展開させた作品や、小須戸の地域密着型のアートプロジェクト

小須戸 ART プロジェクト 2017 では特に、旧小須戸町のキャッチコピー「花と緑の小須戸町」にちなんで、「花と緑」をテーマとした作品の制作プランを、少なくとも1案以上採択する予定としています。

そのため、これまでのプロジェクトで主に会場としてきた町屋に限らず、「花と緑」に縁のある施設や、屋外会場も会場候補地として想定しています。

木瓜やサツキ等の栽培が盛んな地域の特性と、その特性が成立した地域の歴史や環境を掘り下げた展示プランや、地域の「花と緑」を素材として活用した制作プランを、ぜひご提案ください。

■作品制作のサポート

○制作費の支給 最大 15 万円（作家 1 組あたり）

参加作家に対しては、作品の制作及び展示に必要な制作費（作家本人の交通費、滞在にかかる経費や展示に対する謝金等を含む）として、最大 15 万円の支給を予定しています。

（※展示完了後支払い。ただし、希望があれば一部前払いも可能。

助成金決定額により支給額が変動する場合があります）。

ただし、制作の際に支給額以上に経費がかかった場合、超過分については作家側での負担をお願いしますので、ご了承ください。

○その他サポート

・滞在施設の貸し出し

滞りを希望する作家には、制作中の滞在施設として「町屋ギャラリー薩摩屋」を貸し出します。詳細は、お問い合わせください。

・希望者への自転車の貸し出し

作家の移動手段とするために、希望者には自転車を無料で貸し出します。

※小須戸本町通りの周辺は、徒歩圏内にスーパーやホームセンター等はありませんが、公共交通が充実した地区ではありません。自動車を所有する場合は、自動車の利用を推奨します。自動車を利用する際は、来訪者用の駐車場が利用できます。

上記に加え、制作に危険が伴う場合、主催者側でイベント保険への加入を手配することがあります。ただし、健康保険及び傷害保険は作家側での加入をお願いします。主催者は、これらの保険加入などに関する責務を負いません。

■メイン会場

施設名称：町屋ギャラリー薩摩屋

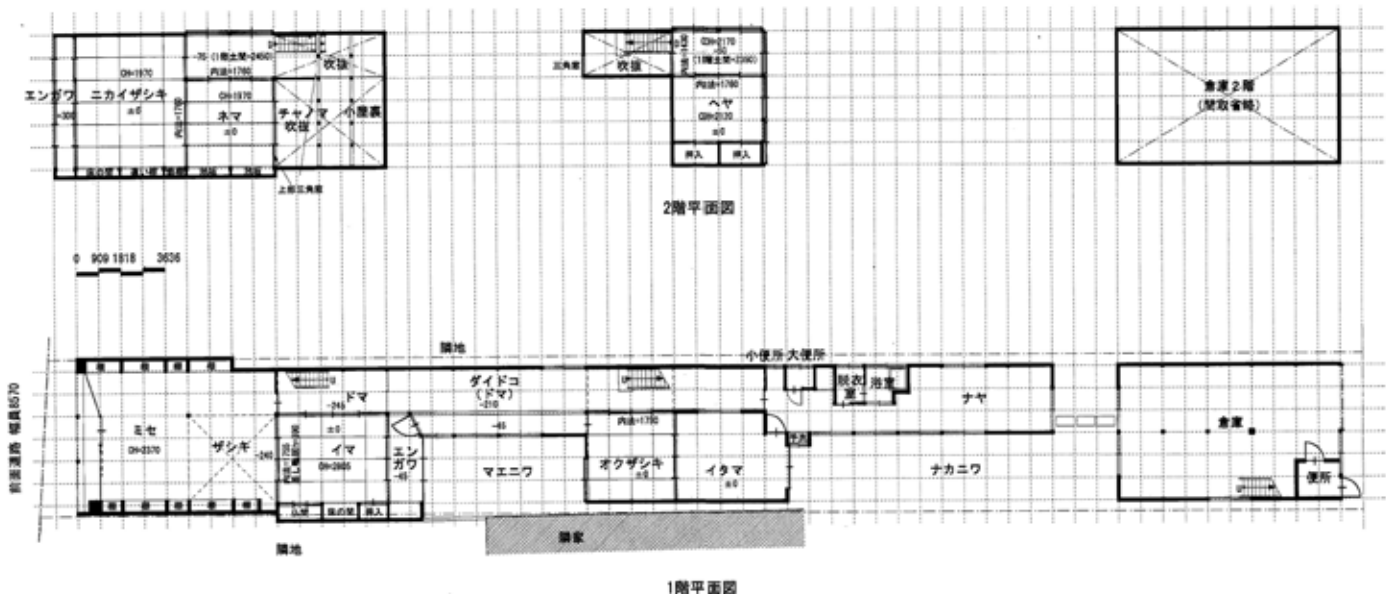
施設所在：新潟市秋葉区小須戸 3 3 9 4

設備概要：築 100 年を超える歴史ある町屋です。間取りは平面図を確認のこと。電気・ガス・水道は使用可能。冷蔵庫有。インターネット接続環境は未整備です。1 階イマ、2 階ニカイザシキ、ネマは畳等改修済みのため、寝室としても利用可能です。浴室は未整備のため、付近の温泉健康センター（自動車で 10 分、自転車で 30 分程度）等をご利用ください。

周辺環境：江戸から大正時代にかけて信濃川の舟運で栄え、当時の名残といえる多数の町屋が建ち並ぶ商店街です。周辺は信濃川、新津丘陵の里山、蒲原平野の田園風景等、自然も豊かです。

現在、町屋・町並みを活かしたまちづくりが進められ、町屋を改装したカフェや店舗の出店、一般の建物の町並みに合わせた改修等も行われています。徒歩圏内にスーパー、ドラッグストア、ホームセンター、飲食店があります。

施設公開：「薩摩屋」は現在、地域のイベントスペースとして公開されています。制作期間中も原則として火曜のお昼、土・日・祝日の 10 時～17 時は、住民が自由に利用できる場として公開予定です。ご協力願います（作品展示や制作の都合により立入不可の場合は除きます）。



■展示会場について

小須戸本町通りの町屋や店舗を展示会場候補として参加作家に紹介します。参加作家は希望する会場で準備期間中に作品を制作・展示し、展示公開期間に公開してください。(希望が重複の場合、主催者側で調整、決定します。)

作家は複数の展示会場の利用を希望できます。新作の展示のほか、過去作を持参しての過去作展の会場としての利用も可能です。また、過去作と滞在制作中に制作した作品を組み合わせで展示することもできます。

なお、小須戸 ART プロジェクト 2017 では、「花と緑」に関連した屋外会場などを新たに活用予定です。

<参考 小須戸 ART プロジェクト 2016 展示会場>

小須戸 ART プロジェクト 2016 では、主に小須戸本町通り沿いの町屋や店舗を展示会場として参加作家に提供しました。会場の様子などについては、過去のプロジェクト HP をご確認ください。

- ・あかり庵
- ・町屋カフェわかば
- ・町屋ギャラリー薩摩屋
- ・雛の町家
- ・栄森酒店
- ・Cafe GEORG
- ・小須戸まちづくりセンター 他

<会場の下見について>

今年度は、会場候補地の下見会は特に行う予定はありませんが、ご希望の方には可能な範囲で個別対応いたします。下見をご希望の方は、事前にメールで問い合わせください。

- ・参加の有無は選考には影響しません。
- ・交通費等の経費は参加者の自己負担となります。
- ・不明な点はお問い合わせください。

■作品の継続展示について

本プロジェクトでは、地域で独自に、新潟市で来年度に開催される「水と土の芸術祭 2018」に向けた作品の継続展示を検討します。下記の2つの条件を満たす作品については、作家が希望する場合、「水と土の芸術祭 2018」の会期終了(2018年10月末頃(予定))まで、地域で継続展示を行う場合があります。

<継続展示の条件>

- ①形態や材質等の性質上、維持管理のうえで問題がない
- ②展示会場の営業上、利用上での問題がない

継続展示の可否の判断は、展示完了後、主催者と展示会場の所有者、その他関係者で調整して決定します。なお、継続展示が決定した場合でも、メンテナンス費用の追加支給等は予定していません。詳細についてはお問い合わせください。

※継続展示のメリットとして、翌年の新潟市「水と土の芸術祭 2018」の開催により、より多くの人に人から作品を鑑賞してもらうことができます。また、市民プロジェクト(事務局主催のアートプロジェクトとは異なる)での展示として、公式ガイドブックや作品集等にも掲載される可能性があります。

■滞在中の活動について

- 1) 原則として、オープニングイベント(9/23)までに、作品の制作・展示を完了し、公開可能な状態としてください。
- 2) 主催者は盗難等の被害の責任を負いません。盗難に遭わないような展示を心がけてください。
- 3) 展示会場として紹介する屋内会場は、歴史的に価値のある町屋や、所有者の思いの詰まった店舗です。**作品の制作・展示は、原則原状復帰が可能な範囲で行ってください。**展示会場らかの手を加える場合、必ず事前に主催者及び会場の代表や所有者の許可を得てください。
- 4) 屋外会場での展示を行う場合には、平常時だけでなく、豪雨や突風、台風等の気象条件の場合でも安全性が確保されることが必要であるにご留意ください。
- 5) 空き家を除く、商店や生活の場として使われている町屋等で作品を制作・展示する場合、所有者の生活や店舗の営業を第一とし、その妨げとならない範囲で制作・展示を行ってください。
- 6) 上記条件を満たすことができるならば、通いや日帰りでの制作・展示も可能です。

■作品等に関する権利について

①制作した作品について

作家が本プロジェクトの補助を受け、滞在制作により制作した作品の所有権及び著作権は、原則制作した作家にあるものとします。また、主催者側が広報・宣伝等に作品の写真等を使用する場合は、作家の了承を得られた場合のみ、使用します。

ただし、町並みへの設置を想定した作品など、作品の性質によっては少なくとも1点程度、主催者への寄贈をお願いする場合があります。

②本プロジェクトの補助を受けて購入し、各展示会場に設置した物品等

作家が本プロジェクトの補助を受けて購入し、展示会場等に設置した照明器具、展示棚、その他物品については、原則として主催する小須戸コミ協の所有するものとします。

ただし、展示終了後に撤去や廃棄が必要と判断される場合は、設置した作家が撤去や廃棄を行う責任を持つものとします。

■作品等の販売について

プロジェクト開催中、町屋ギャラリー薩摩屋に販売を委託していただき、ポストカードや過去作の小品などの販売を行うことも可能です。ただし、町屋ギャラリー薩摩屋に販売を委託する場合は、売上の1割を協力金として町屋ギャラリー薩摩屋へ提供していただきます。

町屋ギャラリー薩摩屋以外の展示会場での販売については、個々の会場の可否を確認し、可能な場合は個別に条件を確認のうえ、作家側で会場所有者と調整してください。なお、本プロジェクト期間中に制作した作品については、プロジェクト期間中の販売は禁止とさせていただきます。

■応募について

1) 応募に必要な書類

A) 応募申請書

指定様式に必要な項目を記載（提出必須）

B) 制作作品イメージ、展示イメージ

現時点で想定する制作作品や、展示演出方法がわかるイメージ、写真、スケッチ等

（A 4 サイズ1 枚程度、様式任意、提出必須）

C) ポートフォリオ等、過去の制作作品、制作のテーマ等をまとめた資料

様式任意、提出任意

※送付いただいた資料は返却いたしません。ご了承ください。

<応募申請書の入手 ダウンロードアドレス>

小須戸 ART プロジェクト 2017 ホームページ(下記アドレス)の、「参加作家の公募について」からダウンロードしてください。

<http://satsumaya.web.fc2.com/ARTP2017/2017top.html>

2) 応募期間

2017年5月20日～6月30日（必着）

3) 送付方法：郵送

〒956-0101 新潟市秋葉区小須戸120-1
小須戸まちづくりセンター 宛

※封筒に「アートプロジェクト応募書類在中」と記入のこと

4) 問い合わせ

satsumaya (at) mail.117.cx

※上記電子メールのみの対応とさせていただきます。

■選考と結果の通知について

1) 選考方法

小須戸コミ協、商店街や会場提供者、その他プロジェクト関係者による書類選考

2) 選考期日

2017年7月上旬に実施

3) 選考結果の通知

7月中旬までに「町屋ギャラリー薩摩屋」ホームページ、フェイスブックページ等に掲載します。審査結果の個別通知はありません。なお審査結果に関するお問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。

■応募に向けた参考情報等

応募への参考に、以下のホームページをご確認ください。

○過去の開催イベント

- ・ 薩摩屋 ART プロジェクト特設ページ <http://satsumaya.web.fc2.com/ARTP2013/ARTP.html>
- ・ みずつち文化創造 2014 市民プロジェクト 小須戸 ART プロジェクト 2014
<http://satsumaya.web.fc2.com/ARTP2014/ARTP2014top.html>
- ・ 水と土の芸術祭 2015 市民プロジェクト 小須戸 ART プロジェクト 2015
<http://satsumaya.web.fc2.com/ARTP2015/ARTP2015top.html>
- ・ 水と土の芸術祭 2015 市民プロジェクト 小須戸 縞の記憶をつなぐプロジェクト
<http://satsumaya.web.fc2.com/kosudojima2015/index.html>
- ・ 小須戸 ART プロジェクト 2016 <http://satsumaya.web.fc2.com/ARTP2016/ARTP2016top.html>

○地域情報

- ・ 町屋ギャラリー薩摩屋 <http://satsumaya.web.fc2.com/>
- ・ 町屋ギャラリー薩摩屋 facebook ページ <https://www.facebook.com/pages/町屋ギャラリー薩摩屋/443858989026348>
- ・ 小須戸町並み景観まちづくり研究会 <http://kosudomachinami.web.fc2.com/>

○関連イベントの情報等

- ・ ASAHI ART FESTIVAL 2016 <http://www.asahi-artfes.net/>
- ・ 水と土の芸術祭 2015 <http://www.mizu-tsuchi.jp/>
- ・ FEEL KYOTO 2015 <http://feel-kyoto-art.tumblr.com/>
- ・ S.Y.P <http://arttokyo.sub.jp/>